

2022 年度カモシカ山行

足尾 銅親水公園～社山～三俣山～庚申山～中倉山尾根～銅親水公園

2022 年 11 月 20 日

L.谷嶋、山本、増田(記)

カモシカ山行は、当初担当であった会員が退会してしまったため、急遽谷嶋さんが担当されることに。そこで谷嶋さんが長年温めていたルートにトライすることになった。計画では 2 時出発の 17 時下山予定で 15 時間行動とのこと。個人的には部分的に歩いており(三衛門沢～シゲト山～黒檜岳、半月峠～黒檜岳、中倉山尾根、そして今年 7 月下山遅延した沓川からの皇海山・・・)それら全てがつながる今回のルートにはとても興味があった。

20 日の 1 時半過ぎに真っ暗な銅親水公園に到着。ほどなくして谷嶋さんと山本さんが到着し、2 時に出発。2 時に行動開始なんて人生初だ。ヘッドランの照らしているところしか見えないので歩きにくい。久蔵沢の林道の分岐を左に入り、カーブが終了した辺りで尾根に向かって斜面を登りだす。前を歩く山本さんの足を照らして付いていく。やや急ではあったが苦勞せず尾根に乗る。尾根上は歩きやすく、黙々と登る。1182m ピーク南の方で休憩。足尾の街の灯りが見える。1568m での休憩をはさみ、眠気と格闘しながらようやく社山。風が強く寒いので、少し下ってから休む。この辺り、眼下には中禅寺湖が広がり、その向こうには男体山が聳えているんだろな・・・。闇の中に中禅寺温泉の灯りが見える。



ガスの中黙々と

ここからの尾根は緩いアップダウンのみでラクだ。6 時近くなると少し明るくなってきた。が、ガスって



三俣山でひとやすみ

いる・・・。この尾根は背の低い笹原と針葉樹の暗い森が交互に出てくる。ガスが薄くなると松木溪谷川の展望が開けてくる。下る予定の中倉山尾根も見える。シゲト山手前の 1919m ピークからの下りで登山道から逸れてしまい、急斜面をトラバースして起動修正。見晴らしの良いところに祠がある。(これは日光修験の夏峯の祠かもと言ってしまったが、ここは夏峯のルートからは外れていました。ウソつきました。すみません。)

明治時代には国内最大の銅山として栄え、

そして煙害に苦しんだ足尾。一方で、大使たちの避暑地として愛された美しい日光。対照的な歴史を持つ山域を分けるこの尾根を黙々と歩いて行く。少し登り返してほぼ平らな樹林帯の中にシゲト山の看板を発見。シゲト山からはまた少し下るが、前方の 1928m が結構な登り返しに見える。近づけば大した登りではなく、ただひたすら足を進める。三俣山の平らな山頂で休憩。ここには金属製の手作りのプレートがあり、叩いて文字やルートを書いたようで、この山への愛情を感じる。

三俣山からは背の低い笹原を下っていく。1847m ピークからの下りは急なガレ場となっていてちょっと怖い。登り返して平らな尾根を歩き、1820m ピークはトラバースしてカットする。1820m ピークは尾根の分岐で進むべき方角が変わるので、現在地をよく確認する。ここからはラスボスの皇海山が見えるようになる。はるか遠くの高いところから我々を見下ろしている・・・。暗い針葉樹の森や明るい笹原を進んでいけば、ラスボスはだんだん大きくなっていく。そして樺の白くて明るい森の中の広い笹原に到着。この気持ちのよいところは国境平呼ばれるらしい。ここでしっかり休んで、ラスボスの登りにかかる。空からは雨ではなく白いものが降ってきたが、樹林帯に入ったのであまり気にならない。暗い針葉樹の中の急斜面は結構キツイ。前に行くお二人に遅れてしまおう・・・。この状況、夏の浮川からの詰めと同じではないか。皇海山はいつも辛いのだ。なんとか登山道に合流し不愉快な道を進んでいく。そして山頂！お疲れ様です。



ラスボスが見下ろす

他に登山者がいない山頂で集合写真を撮り、ここまで来たらあとは何とかなる！という軽い気持ちで下り始める。が・・・本当のラスボスは鋸山だった。登り返しの辛いこと！雨具を着込んでいたが体が温まってくると風呂に浸かっているように気持ちよくなってしまい、睡魔に襲われる。転んだらそのまま寝そう。薄着になり鋸山を越えると、その先のスリリングな尾根ですっかり目が覚めた。ボロい梯子やロープでほとんど整備されていない感じ。ここを往復して皇海山に行く人凄いな・・・。私はすっかり覚醒してしまったが、谷嶋さんは少々体調が悪いようで心配だ。なんとか庚申山に到着したがもう 16 時を過ぎている。迫る日没・・・。個人的にはここから庚申山荘に下って避難か下山かなあと思ったが、山荘までも結構スリリングだし、银山平までも長いかな・・・。

庚申山を出ると雪。季節は一気に冬になり、真っ白な笹原を歩いていく。この尾根は一般的な登山道ではないので道が明瞭ではない。明るければ笹原の中の道が見えるのだろうが、暗い上に笹が真っ白なので道が判然としない。そして日没・・・。道が分からないので GPS とコンパスを頼りに進んでいく。深い笹原になってしまったり、全く違う方向に進みそうになったり・・・。私の GPS



いきなり冬山

は入れてきた地図が粗すぎて役に立たずお手上げ。冷静なお二人のおかげでなんとか進んでいく。沢入山手前で休憩。庚申山からここまで休まず歩いてきた。私のヘッドの調子が悪く、谷嶋さんの予備をお借りする(予備お持ちとはビックリしました)。沢入山からは明瞭な登山道。下山予定の17時はとっくに過ぎていたが、皇海山からずっと圏外なのでとにかく急いで電波が届くところで連絡しなければ。雨の中、とにかく進むしかない。道が尾根を外れて下りだすとぬかるみ地獄だった記憶どおり、今日もかなりトラップだらけ。慎重に下っていく。やっと林道に降りられて、心の底からほっとした。しかし電波はまだ！少し休憩して歩き出す。すると突然電波が入り、無事下山できることを斎藤さんに連絡できた。良かった～。役員のみなさんに大変心配をかけてしまった。申し訳ありません！連絡してしまえば気が楽になり、なんだかんだとおしゃべりしながら、楽しく林道を歩き、銅親水公園に21時に到着。19時間も行動するなんて、人生でなかなか無い経験ですね。

のちに見せていただいた山本さんの iPhone のムーブによると→消費カロリー:7,151kcal、歩数:72,707、距離:48.53km、登った階数:831、だそうなの…。無事に歩き通せたのは、お二人のおかげです。谷嶋さんは色々話題を振ってくださり、楽しく話しながら(お二人の会話を聞いているのも楽しかった)歩けましたし、屈強な山本さんは最後の真っ暗な中倉尾根でも冷静でとても頼もしかったです。ありがとうございました。

【コースタイム】銅親水公園(2:00)～社山(4:55)～黒檜岳(7:00)～シゲト山(7:50)～三俣山(9:20-30)～カモシカ平(10:50-55)～国境平(11:25)～皇海山(12:45-50)～鋸山(14:00)～庚申山(16:05)～オロ山(17:30)～沢入山(18:35)～林道(8:-20)～銅親水公園(21:00)



信号カラー